

第18回多職種勉強会 アンケート結果

1.開催概要

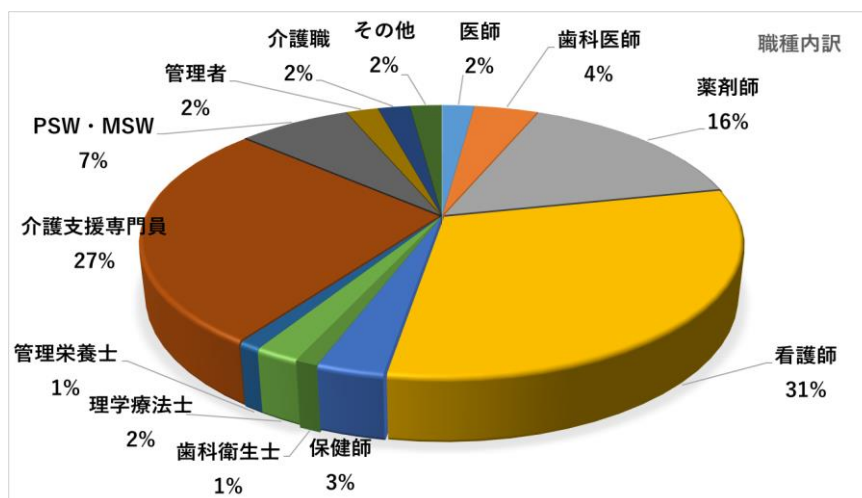
開催日	令和5年8月23日(水) 19時～20時30分
開催場所	オンライン開催(Zoom)のみ(配信拠点・市役所5階特別会議室)
テーマ	体制訪看!!他職種との連携があってこそその訪問看護! 「松阪地域の訪問看護の今とこれから」
参加数	最大時 110アカウント(事務局含む)

前回は引き続き、オンラインの開催となり約110組の方々にご参加いただきました。話題提供では、松阪地区三重県訪問看護ステーション協議会市川千恵子氏にお招きし、松阪地域の訪問看護の現状、活動内容などについて資料を交えてお話いただきました。事例では、多職種が関わり在宅生活が継続できているケースをご紹介いただきました。また、各職種から事前にいただいた質問に、市川さんから一つずつお答えいただきました。多職種連携の工夫を知ることができ、多職種で関わる大切さが伝わる講義となりました。グループワークでは、各グループに訪問看護ステーションの看護師さんに入ってください、現場のお話を聞くことができました。各グループで、訪問看護師さんへの質問をはじめ、連携方法などの話題で時間いっぱいまでお話をさせていただきました。今後も気軽に話し合えるグループワークができるよう、努めてまいります。お忙しい中ご参加いただいた専門職の皆様ありがとうございました。



2.参加者内訳

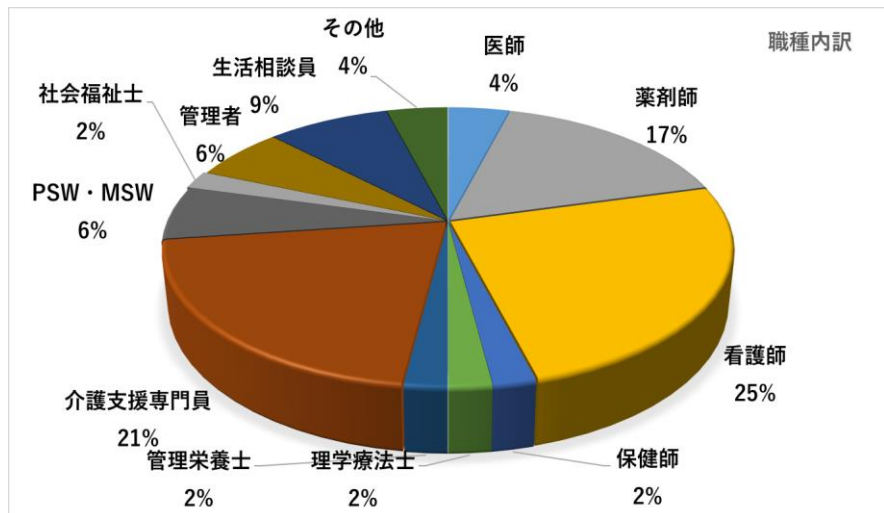
医師	2
歯科医師	4
薬剤師	15
看護師	30
保健師	3
歯科衛生士	1
理学療法士	2
管理栄養士	1
介護支援専門員	26
PSW・MSW	7
管理者	2
介護職	2
その他(事務員など)	2
その他(事務局)	13
合計	110



3.参加者アンケート結果(48回答)

①職種を教えてください

薬剤師	8
看護師	18
管理栄養士	1
介護支援専門員	13
PSW・MSW	4
介護職	1
生活相談員	1
その他	2
合計	48

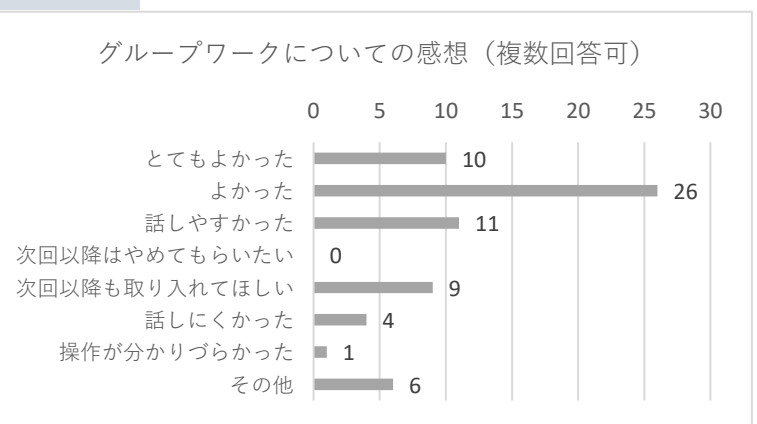


②松阪地区 三重県訪問看護ステーション協議会 市川千恵子氏の話提供について、感想

とてもよかった	22
よかった	25
分かりにくかった	1
合計	48

③グループワークについての感想(複数回答可)

とてもよかった	10
よかった	26
話しやすかった	11
次回以降はやめてもらいたい	0
次回以降も取り入れてほしい	9
話しにくかった	4
操作が分かりづらかった	1
その他	6
合計	67



※その他コメント

- ・PCに機能が無いので、トークの参加は出来ないけど他の方の意思が聞けるので良い。
- ・時間が足りなかった。盛り上がってきた所で終わってしまったのが残念。
- ・メンバーに新人の方が多く、少し物足りないと感じました。でも司会の方、とってもがんばってくださって感謝です。
- ・グループ人数を減らす、若しくは、時間を増やすなどできるとよかった。情報交換にまで至らなかった。
- ・グループワークではテーマ以外にフリートークの時間もあるといいかなと感じました。

④今回の勉強会で印象に残ったことや今後に活かしたいこと

薬剤師

- ・訪問看護ステーションの活動内容や現状がよくわかった。多職種で連携していきたいと思った。
- ・松阪市の在宅状況が分かって良かった。まだまだ薬剤師の介入は少ないと感じたため、積極的に多職種と関係を築きたい。
- ・事例提供の中で、訪看さんが服薬管理に時間を割いてくれている現状がわかりました。「薬剤師を使ってほしい！」と思います。薬剤師が行っている「居宅療養管理指導」について知らない多職種の方が多くいたので、まだまだ薬剤師サイドからの啓発が足りないと感じました。利用者さんが安心安全にご自宅で暮らせるよう、それぞれが専門職を生かして繋いでいくことが大切だと思います。そのためにもこのような顔の見える関係作りは重要だと考えます。もっともっと気軽に相談できる仕組みづくりが必要だと感じました。今回、訪看さんの業務を知ることができ、改めて尊敬する職業だなと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・訪問看護ステーションのそれぞれの特徴。
- ・予防も患者様にとってはとても大切なのだが、訪問看護をするにあたり疑義が来る時もあるとあって国との必要性の相違があると知りました。
- ・いろいろな職種が連携することで問題を解決していけるということ。

看護師

- ・薬局さんとのつながりの重要性を改めて確認することができました。今後は薬局の方との連携を深めていこうと思います。
- ・日めくりカレンダーを取り入れたいと思いました。1週間セットするカレンダーをよく使用しています。もう少し具体的に考えて実施していきたいと思います。
- ・他職種とのグループワークで各職種の仕事内容などがわかり、在宅での生活を支えるにはやはり他職種への連携が重要だと感じました。
- ・事例を通して連携の大切さを学びました。
- ・グループワークで他職種の方のお話を聞くことにより、他職種の方にもっと相談させてもらおうと思いました。また、在宅で過ごすためには、連携が大切だとあらためて感じました。
- ・多職種で連携した服薬管理の方法が参考になった。
- ・グループワークでは時間が足りませんでした。もっと普段からの疑問を話し合いたかったです。きっと他の皆さんも多職種それぞれの立場からの意見交換をしたい！と思われたと思うので、積極的にコミュニケーションを取っていききたいと思います。
- ・多職種連携の必要性がよくわかった。グループワークで、多職種間での情報交換ができて、よかった。今回は、事例が薬剤管理ということで、グループワークで話が広がったが、多職種連携と言いながらも、訪問薬剤師の介入が少ないことや実際に、薬剤師が介入するにしても、依頼の方法など細かいことが不明なことが多く、現状として、進んでいない職種もあることがわかった。今後の課題ではあると思うが、介入が少ない職種の訪問の利用が進み、さらなる多職種連携ができるようになるといいなと思った。
- ・コロナ禍でなかなか顔の見える繋がりということができませんでした。やはり、顔を見て話すということは大切だと思いました。カメラ越しではありますが、顔を見て話せたのでよかったです。多職種で話せたのもよかったです。
- ・グループワークで意見交換した中で、迷ったら一度他職種に相談してみると繋がっていかのだと感じました。
- ・連携の具体例をもう少し多様な職種と内容で紹介いただけると、さらに勉強になったと思います。
- ・白内障手術後に処方された目薬を独居の方が1日4回実施できるかの質問に、薬剤師様がステロイドもあるかもしれないので、回数多くしてしまうより、支援が入った際に確実にさせれば良いのではという意見が、なるほどと感じました。何としても。ではなく、できる範囲で。でも良いのだなと感じました。
- ・要支援者の訪問看護について利用しにくさが皆さん共通であることが分かった。
- ・薬剤師さんが訪問してくれると聞いて、ぜひ連携してみたいと感じました。
- ・グループワークで、ケアマネジャーさんから、以前は訪問看護は敷居が高くて依頼しにくいイメージがあったが、松阪地区の訪問看護ステーションが増え、このような多職種で参加できる学習会や講演で訪問看護を知ること、訪問看護師の依頼を積極的にできるようになったとの意見をいただいた。
- ・他職種連携の重要性を改めて学びました。

管理栄養士

・自身の職種では当たり前のことが他の職種にとっては知らないことだったり、それがどの職種でも言えることだと思うので、互いの職種に関して知ることが大事だと思いました。

介護支援専門員

- ・訪問看護各事業所の特色等の表を活用していきたい。症例でのお薬カレンダーは参考になりました。
- ・グループワークの時間が、参加人数に対して短くて、まったく発言できなかった人がある。司会者が一人でしゃべっていて、話の内容は、多職種連携についてではなく、訪問看護ステーションの内輪話で終わってしまった。参加者もデイサービス、ヘルパー ショートステイなど多職種の参加があればよかった。
- ・疾患の予防的に訪問看護サービスを取り入れていきたい。
- ・事例を通じて訪問看護とヘルパーが連携し、利用者の生活・健康を支援しているのがわかった。ケアマネとして他職種にも伝え、それぞれの立場でできることを考える一助になればと思う。
- ・訪問看護の現状がよくわかりました。
- ・訪問看護が増えてきているが、はたして継続して人材確保、ニーズが保てるかは不明。支援があると安心感が違うので、ありがたい。多職種の連携方々のあり方。カナミックは便利だが、確認がワンテンポ遅れるため、使いにくさを感じると言われてみえる方もみえ、共感できました。
- ・訪問看護とヘルパーの連携によって服薬が確実にできるようになった事例より、連携の仕方や服薬管理の難しい方への関わり方等沢山学ぶ事がありました。今後活かしたいと思います。
- ・訪問看護ステーションの特徴をもっとして、利用者様にあったステーション選びをしていきたい。
- ・事業所間の連携について、主治医がカナミックソフトを利用されているケースは、とても有効に連携がとれているので、お忙しい主治医の先生方には是非カナミックソフトの利用をして頂きたいと思う。訪問看護さんが介入して下さることで、とても穏やかに落ち着いていただけるケースが多々あります。本当に感謝しています。
- ・黒井先生がおっしゃった「腕と頭が見える関係づくり」がとても印象的で、大切だと思いました。何ができるか、どんなことを考えているか。連携の上でとっても大切だと思います。
- ・訪問看護さんには特に医療面で大変お世話になっております。今後も多職種が連携する事の大切さを再確認しました。
- ・これまでお会いしたことのない事業所の看護師さんのお話が聞けたので勉強になりました。

PSW・MSW

- ・訪問看護師さんが患者さんの状態から入院を判断する時の流れや予防から介入したい看護師さんの訴えが主治医に届かない時のジレンマなど、色々伺えました。また多職種連携ではよく伺う、訪問薬剤師さんや管理栄養士さんとの連携がわからないと言われる方があり、まだまだこの辺りの情報が一部にとどまっているのだなと感じました。
- ・事業所一覧でこども訪問看護ステーションがあることにびっくりしました。松阪市に子どもへの訪問看護ステーションがあることを初めて知れた。
- ・訪問看護との情報共有の重要性を再確認できました。ありがとうございました。

介護職

・訪看のリスト、大変ありがたかったです。今後、利用させていただきます。特徴も書いて頂いてあったので良かったです。

その他

・訪問看護ステーション間の連携や、その他の色々なサービス提供方法など。

⑤今後開催してほしい勉強会のテーマについて

・【テーマ】 フレイル 医療DX 認知症 【職種】 管理栄養士

・zoomではなく、リアルな勉強会の開催

・ST様やPT様から訪問看護介入時にできる、リハビリ、注意点教えていただきたいです。

・口腔ケアについて

・医療行為やそれに準じる支援を提供する場合、医師の指示書が不可欠なので、今回のようなテーマでディスカッションする場には、ぜひもっと医師や歯科医師にご参加いただきたいと思いました。
また、医師会主催の健康フェスや、歯科医師会主催の歯の健康まつり?にもっと他職種も参加するとよいのでは?とも思いました。

そして、今回全く参加がなかったようですが、介護職をもっと取り上げていただけてはどうかと思います。

・訪問看護に関してでは薬剤師さんの訪問看護では服薬確認、指導以外にどのようなことまでをしてもらえるかなどを聞いてみたい。

・今回のような多職種での勉強会で、顔の見える勉強会をお願いしたいです。

・ヘルパーさんがケアマネとの連携で困っている事、連携で上手くいった事

・勉強会もそうですが、もっと気楽にラフに何でも話し合えるような関係になる会があればよいなと思いました。
グループワークももっと少人数の方が話しやすい気がします。

・重層的支援について

・訪問介護で困っていること。訪問看護、介護を利用されている方の声など聞きたいです。

・ヘルパーさん

・適当であるか不明ですが、高齢者虐待についての勉強がしたいです。

・栄養面や経口摂取訓練などの進め方、他事業所の工夫を教えてくださいたいです。

・口腔ケアについて(訪問口腔ケア)

・在宅での薬剤師の活動についてなど。

・自治会や民生委員さんのこと

⑥第17回多職種勉強会(2023.3.8開催)に参加された方へ

(1)勉強会参加後に現場での意識や行動の変容はありましたか

特に変化なし	17
変化があった	6
合計	23

(2)変化があった方へ。どのような変化ですか。

・実際に成年後見制度利用には至っていないが、利用者に適した制度を選ぶために、行政に問い合わせ知識を得ようと努めている。

・日常生活の中で異常な行動を早く察知することができた。

・関わった患者様のご家族さんに積極的にこの制度の良さや、そもそもこういう制度があるんだということをお伝えできるようになりました。

・相談業務の中の知識が広がった。

・薬剤師との連携。